

令和6年度一般選抜（C日程）における小論文出題意図

国際地域学部

1. 小論文問題作成の基本的な考え方について

新潟県立大学国際地域学部国際地域学科のアドミッション・ポリシーに照らし合わせて、本学科での学修にあたって欠かせない資質が総合的に備わっているかどうかを確認するための出題である。具体的には知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性が発揮されることを期待している。

2. 試験問題の内容および意図について

（内容）

現在、政治家の失言やインターネット上の誹謗中傷に見られるように、日本社会では日常的に民族・ジェンダーをめぐる差別的発言が後を絶たない。日本社会において日々生み出される差別をめぐる問題を扱った著作から、差別が生み出される構造が、日本における在日コリアンや在日中国人をめぐる認識などの具体的な問題を通じて、詳細に説明されている部分を取り上げた。

（意図）

設問一では、著者の指摘を本文に沿って説明することを求めている。雇用を限定する「二つの例」が差別に当てはまるかどうかについて解答するには、問題文を正確に読み、その論理を理解していることが不可欠で、主に読解力を判定するための出題である。

設問二では、本文で著者が提示する「差別の三者関係モデル」を理解した上で、日常で生み出される差別をめぐる問題を論理的に説明し、かつ解決のための方向性をはっきりと示すような文章を書くことを求めている。その際には、社会における差別の問題を併せて述べるのが望ましい。また、解答者が差別をめぐる問題を自分自身の問題としてとらえているかどうかは重要なため、個人的な経験を示しながら解答を書いても構わない。一方で、本文の内容を理解しないまま、「差別はよくない」「差別する人は間違っている」と、論拠を示さずに断定するだけでは、高く評価されない可能性がある。